

家族支援専門看護師 源田 美加 副師長インタビュー ～患者さんだけでなく、家族全体をケアする～

家族支援専門看護師とは、患者さんを含めた家族のニーズを引き出し、家族が主体的に問題解決できるよう、家族をまるごと支援する専門看護師です。家族支援専門看護師は、全国で57人、愛媛県では1人（2017年12月現在）しかいない専門看護分野です。専門看護師になるには、特定分野で5年以上の実務経験の後、看護系大学院を卒業し、認定試験を受ける必要があります。

私は臨床経験の中で、家族へのケアの重要性を感じながらも、対応の難しさに直面し、その壁を越えたいという思いから専門看護師の道を選択しました。当院には、資格取得を支援するために、学びを目的とする休業制度が設けられています。私もこの制度を利用し、資格を取ったあとスムーズに復職しました。

復職後は資格を活かし、患者さんだけでなく、療養から派生する困難を抱える家族のニーズを引き出してケアに繋げたり、家族看護に関する研修の講師も行っています。私は、在宅移行期にある患者さんのご家族への支援は、家族生活の安定と療養継続の意味で重要であると考えています。今後は地域との連携を進めて、継続性のあるケアを提供したいです。また、家族支援専門看護師の認知度の向上にも努めたいです。



インタビューに答える源田看護師